

温暖化防止条例：熊本県建築物環境配慮制度運用マニュアルの補足

令和4年（2022年）12月版

環境配慮計画書・評価ツール：各種情報（面積ほか）入力時の注意点

- ・別記第8号様式（規則第29条・第30条関係）⇒「建築物環境配慮計画書」に関する様式や評価ツールを例として、特に質問等が多いケースを紹介します。
- ・なお、別記第11号様式（規則第34条関係）⇒「建築物環境性能届出書」に関する様式や評価ツールについても、同様の手順で入力をお願いします。

■建築物環境配慮計画書（表）≒1枚目

- ・建築物の名称：「〇〇庁舎新築工事」といった工事名ではなく、『〇〇庁舎』を入力
- ・工事の種別：確認申請書（第四面）【3. 工事種別】と整合
- ・敷地面積：確認申請書（第三面）【ホ. 敷地面積の合計】の総合計と整合
- ・建築面積：確認申請書（第三面）申請部分のうち対象棟に係る建築面積と整合
- ・床面積の合計（新築等）：確認申請書（第四面）【ロ. 合計】申請部分と整合
- ・床面積の合計（その他）：確認申請書（第四面）【ロ. 合計】申請以外の部分と整合
- ・床面積の合計（合計）：確認申請書（第四面）【ロ. 合計】合計と整合
- ・構造：確認申請書（第四面）【4. 構造】と整合
- ・高さ：確認申請書（第四面）【イ. 最高の高さ】と整合
- ・階数：確認申請書（第四面）【8. 階数】と整合

■建築物環境配慮計画書（裏）≒2枚目

- ・計画内容に係る連絡先：事務所名と所在地、当該事務所の担当者名や電話番号等
→委任状（当該計画書の作成や提出に係る業務）の受託者の情報と整合
- ・備考：CASBEE評価員の資格者が関与している場合は、当該資格者の氏名及び評価員番号
- ・備考：当該計画書や評価ツール（CASBEE熊本や熊本県独自の評価ツール）、省エネ計算等に関する再受託者等が別に関与する場合は、連絡先（事務所名、担当者名、電子メールアドレス等）

◆熊本県独自の評価ツールの場合：メインシート

- ・建物名称：「〇〇庁舎新築工事」といった工事名ではなく、『〇〇庁舎』を入力
- ・敷地面積：確認申請書（第三面）【ホ. 敷地面積の合計】の総合計と整合
- ・建築面積：確認申請書（第三面）申請部分のうち対象棟に係る建築面積と整合
- ・延床面積：確認申請書（第四面）【ロ. 合計】申請部分と整合
- ・工事の種別：確認申請書（第四面）【3. 工事種別】と整合
- ・階数：確認申請書（第四面）【8. 階数】と整合
- ・構造：確認申請書（第四面）【4. 構造】と整合

◆CASBEE熊本<<新築等>>評価ツールの場合：メインシート

- ・建物名称：「〇〇庁舎新築工事」といった工事名ではなく、『〇〇庁舎』を入力
- ・敷地面積：確認申請書（第三面）【ホ. 敷地面積の合計】の総合計と整合
- ・建築面積：確認申請書（第三面）申請部分のうち対象棟に係る建築面積と整合
- ・延床面積：確認申請書（第四面）【ロ. 合計】申請部分と整合
- ・階数：確認申請書（第四面）【8. 階数】と整合
- ・構造：確認申請書（第四面）【4. 構造】と整合

環境配慮計画書・評価ツール：電子データのファイル名称：ネーミングの際の注意点

- ・所管行政庁PC端末でのファイルチェックやデータ整理の際の混乱を避けるため、ファイル名称のネーミングの際は次のような例に沿って工夫をお願いします。

【例】様式ほか：ファイル名称の先頭に01・02、11・12、21、31、41、51、61 といった仕分け番号を付ける

- ・「 01評価結果の概要等 」 ≡ HP公表用のダイジェスト6ページ分：1ファイルのPDFに結合
- ・「 02評価ツール 」
- ・「 11環境配慮計画書 」 ・・・・別記第8号様式（規則第29条・第30条関係）など
- ・「 12委任状 」
- ・「 21省エネ計画書や計算書の抜粋 」
- ・「 31根拠資料：BEMS関連 」 ・・・・低炭素化に資する措置の一つとして選択する場合の例
- ・「 41根拠資料：計算書・チェックリスト 」
- ・「 51根拠資料：カタログ抜粋 」
- ・「 61確認申請書：第三面・第四面 」 ・・・・作成済みであればご提出をお願いします

【例】図面：ファイル名称の先頭にA A-、A S-、E-、M-、G- といった仕分け文字を付ける

- ・ A A-意匠図01 ≡建築計画に関するダイジェスト（配置図、平面図、立面図、ほか）
 ※根拠資料としての該当情報があれば、その旨を追記してください。
 →例：Q2-1.1.1 広さ
 ⇒平面図に、1人当たりの執務スペース◎㎡を記入
- ・ A A-意匠図02 ≡01以外の詳細図など ・・・・根拠資料として提出する場合
- ・ A S-構造図 ・・・・根拠資料として提出する場合
- ・ E-電気設備図 ・・・・根拠資料として提出する場合
- ・ M-機械設備図 ・・・・根拠資料として提出する場合
- ・ G-外構図 ・・・・根拠資料として提出する場合